

**平成29年度 秋葉中学校
学校保健委員会**

**『災害時、秋葉中学校が避難所になったら、
もしもでなくて今やろう
～秋中生ができること～』**

**平成29年12月12日（火）14：40～
秋葉中学校 コミュニティ研修室**

秋葉小学校地域防災訓練2016



地震発生

When an earthquake hits

发生地震

地震発生時の行動を時系列に沿って表示しました。災害時にはあわておにイラストのような行動をとってください。

(市域区画設計画より)

地震 3 原則

Three Important Principles

地震须知 3 原則

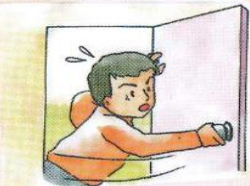
① その場にあった身の安全

Protect yourself in the best possible manner in the given situation
随机应变，确保自身的安全

- 身を守る

● 出口の確保

● キーをつけたまま道路の端に止めて避難



② すばやく火の始末

Extinguish any fires immediately
立即灭火

- 火が出たら大声を出して周囲に知らせ協力して初期消火



③ とおり近所の助け合い

Cooperate with your neighbors
和左邻右舍建立互助体制

- とおり近所に声をかけ合い助け合う



自宅にとどまる場合

Staying in your house

留在自家时

防災・区民マップ

要援護者への手助け
Help those who need help
帮助不能自理的人

倒壊建物に閉じ込められた
場合の救出
救出活動
Join rescue operations
救助活动

応急救護活動
Assist first aid
operations
医疗救护活动

町の防災組織の活動に参加
Participate in the activities of the
neighborhood disaster
prevention group
参加防災市民活动



避難する
場合
Evacuating your house
避难时

避難誘導
Help with evacuation
guidance
避难引导



避難
Evacuation
避难

広くて安全な場所に避難
Go to a large and safe area.
即到宽广安全的地方去避难

いっと
(公園
(parks /
(公園
その場にあ
予め、自治
地域で決め

自宅建物が火災や倒壊の危険がないときは



閉じ込められた救出活動
救出活動
Rescue operations
救助活动



転倒家具等からの救出



応急救護活動
Assist first aid operations
医疗救护活动



伝言板 (情報交換)
安否確認 (町内会単位など)
災害時安否情報システム



伝言板 (情報交換)

地域防災拠点

Local Disaster Prevention Base

応去地区防災拠点避難

- 食糧、水、救援物資などの配布場所
- 生活情報の提供場所
- 家が倒壊した方の一時的な生活場所
- 家族の安否確認

傷病者

リサイン(校舎屋上に文字を表示する)

窓ガラスの飛散防止
学校の体育館、校舎等に飛散防止フィルムを貼付しています。



テント型トイレ

デジタル無線シン

防災・区民マップ

自宅に戻れない場合
In case you are not able to return home
不能回家时



体育館



移動式炊飯器 (小学校)



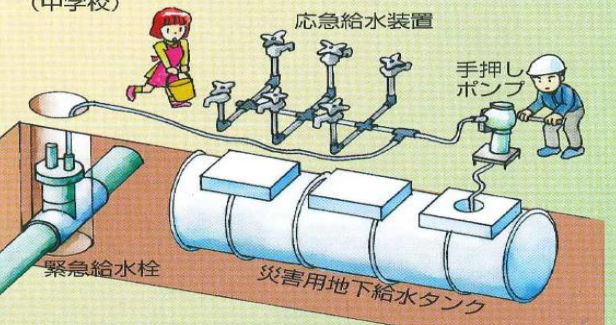
ガスかまどセット (中学校)



エンジンカッター



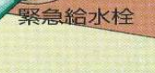
リヤカー



応急給水装置



手押しポンプ



緊急給水栓



災害用地下給水タンク

飲料水の確保

飲料水の確保のため、災害用地下給水タンク・緊急給水栓・受水槽を活用した飲料水確保の整備と、水缶詰の備蓄を進めています。



いっとき避難場所 (公園・空き地)

(parks / vacant lots)
(公園・空地)

その場にあった身の安全
予め、自治会、町内会など、
地域で決めておく。

大火災になったら
In the case of a big fire
发生大火灾时

避難
vacuation
避難

広域避難場所
Large Open Area for Evacuation
应去广域避难所

大火災になったら
In the case of a big fire
发生大火灾时

地域防災拠点運営委員会

震災時避難場所の運営



防災・区民マップ

地域防災拠点運営委員会

震災時避難場所の運営

- 震災時に避難された方々が、一定期間生活する震災時避難場所を管理運営するために、各拠点において地域の皆さんを中心に構成する「運営委員会」を設置しています。
- 避難された住民の皆さんは、運営委員会の委員やボランティアの人たちと協力して震災時避難場所における避難生活の運営に当たってください。



震災時の運営委員会の主な活動

避難場所では優しい心で、声を掛け合い、みなさんで協力して運営に努めましょう。

- **食糧・生活用品等の調達・配布**
食糧や救援される物資の配布、炊き出しを行います

- **要援護者保護**
障害者、お年寄り、傷病人の方々を援護します



● **安否確認**
地域住民の安否確認を行います

● **環境衛生対策**
仮設トイレ、ろ水機の設置、地域
防災拠点の清掃など環境衛生、防
疫対策を行います

● **避難者の誘導、役割分担**
避難者を体育館などに誘導します
避難場所運営に協力していただ
ける避難者の方々には、作業班の割
り当てを行います



平常時の運営委員会の主な活動

- 避難場所運営方法等の訓練
- 防災知識の習得・普及活動
- 地域での防災訓練
- その他、地域防災力の向上に必要な事

防災・区民マップ

地域防災拠点備蓄品一覧

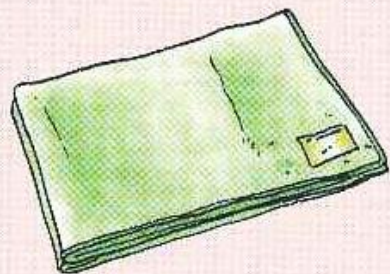
地域防災拠点の防災備蓄庫には、発災時の救助・救出活動や避難生活の維持等のため、これらの備蓄品を整備しています。

救 助 用 品	 <p>エンジンカッター……………2台 革手袋、防塵眼鏡がセット</p>		 <p>発電器……………5台</p>		 <p>レスキュージャッキ……………1台 (4トン油圧ユニット、付属品)</p>		 <p>投光機……………5台 (シールド ビーム300W)</p>			
	 <p>スコップ……………5本</p>		 <p>金属梯子……………1本</p>		 <p>救命ロープ……………5本</p>		 <p>つるはし……………5本</p>		 <p>大バール……………5本</p>	
	 <p>てこ棒……………5本</p>		 <p>掛矢……………2個</p>		 <p>大ハンマー……………5本</p>		 <p>大なた……………5本</p>		 <p>のこぎり……………5本</p>	
	 <p>ワイヤーカッター……………5本</p>		 <p>担架……………10本</p>		 <p>ポール(応急担架用)……………10本</p>		 <p>ハンドマイク……………2個</p>		 <p>ヘルメット……………10個</p>	

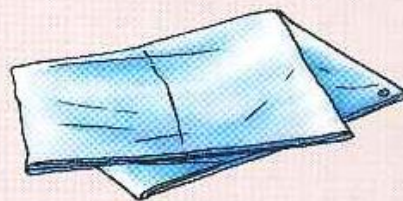
救護用品



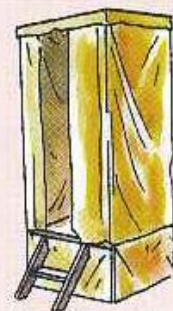
リヤカー……………2台
(折りたたみ式、
ノーパンクタイヤ)



毛布……………20枚



グラウンドシート……10枚



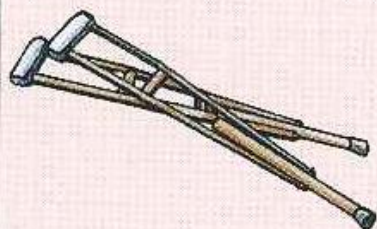
テント型トイレ2基
(和式、洋式各1基、仮設組立式)



給水用水槽・1個
(容量約1,000ℓ)



保温用シート……………50枚



松葉杖……………5組



パック式トイレ…6セット
(100パック付)

食糧・水

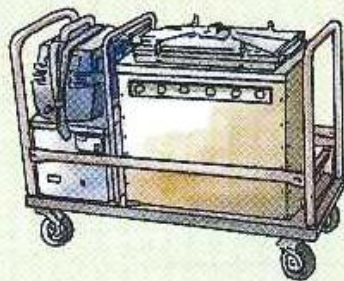
- 粉ミルク・ほ乳瓶……………19セット
- おかゆ……………440缶
- 水缶詰……………2,000缶
- クラッカー・乾パン……………2,000食
- スープ……………220食



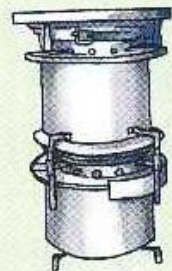
生活用品



高齢者用紙おむつ……………210枚
乳幼児用紙おむつ……1,350枚
生理用品……………425個
トイレットペーパー……192巻



移動式炊飯器……1台
(拠点が小学校の場合)



ガスかまどセット…1セット
(拠点が中学校の場合)

※毛布等については、方面別備蓄庫にも備蓄があります。

秋葉小学校地域
防災拠点運営委員会



秋葉小学校地域防災拠点

開設・運営マニュアル



秋葉小学校地域防災拠点運営委員会

三角巾による救急法



毛布担架の作り方





水道水蛇口設定

飲料水の水栓





飲料水の水栓



備蓄倉庫



備蓄倉庫



横浜市防災備蓄品
トイレパック
横浜市防災備蓄品
トイレパック
横浜市防災備蓄品
トイレパック

女性用
横浜市 425枚
生理用品
(感用・200個 夜用・225枚)
納入年月日 3月 日

贈答用トイハクス
サニタハクス PM型
贈答用トイハクス
サニタハクス PM型
贈答用トイハクス
サニタハクス PM型

贈答用トイハクス
サニタハクス PM型
贈答用トイハクス
サニタハクス PM型

炊き出しの準備





災害時下水直結式仮設トイレ案内

ここには、仮設トイレ用下水道管が設置されています

使用方法

① 立ち上り管の蓋をはずし、仮設トイレを設置する

※蓋をあける工具は防災倉庫に保管

② 注水用マンホールから下水道管に水を貯める

※プール水・水道水を活用/約800ℓ
注水用マンホールから管の半分程度貯まった事を確認

③ トイレが使用可能になる
必ず、下水道管に水を貯めてから使用

※貯めた水が、トイレからの汚物やペーパーを溶解し、排水しやすくします

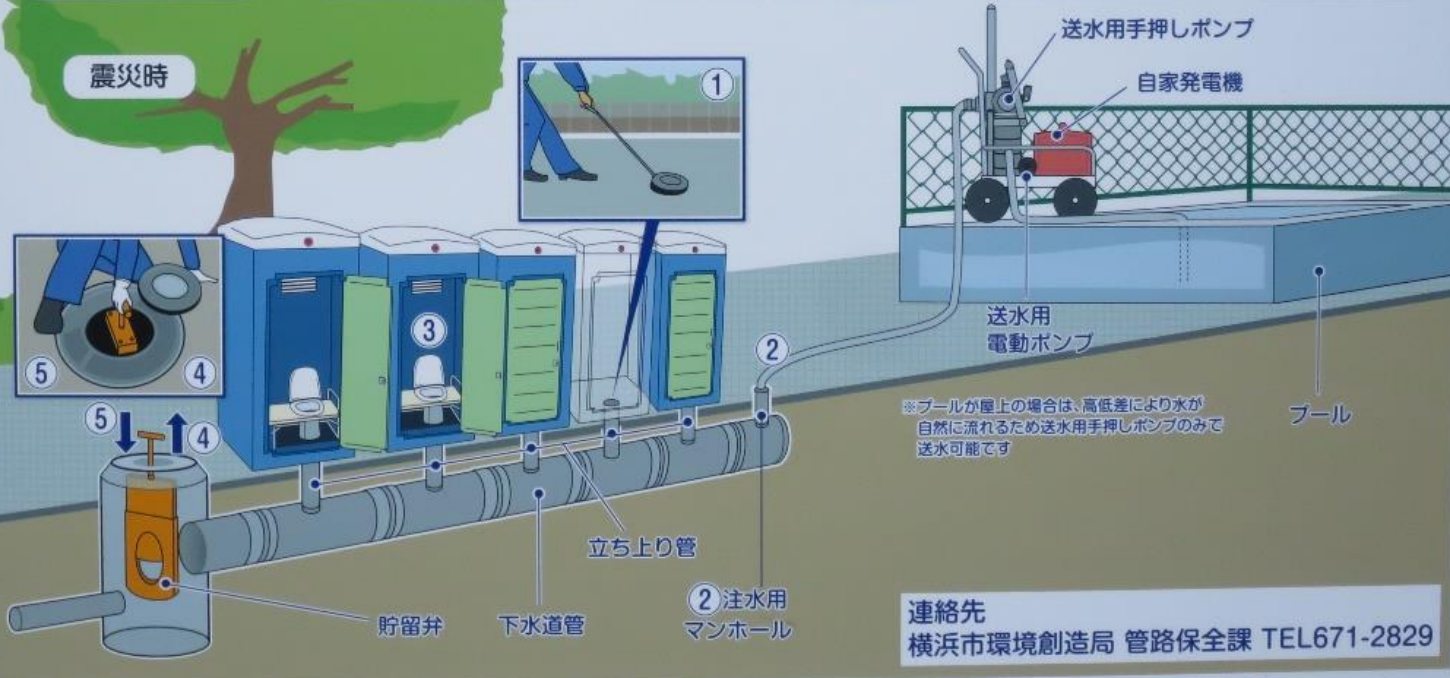
②からの工程を繰り返す

④ 約500人使用したら貯留弁をあげ、排水する

※1日1~2回程度/一気に排水

⑤ 下水道管が空になったら貯留弁を閉める

震災時

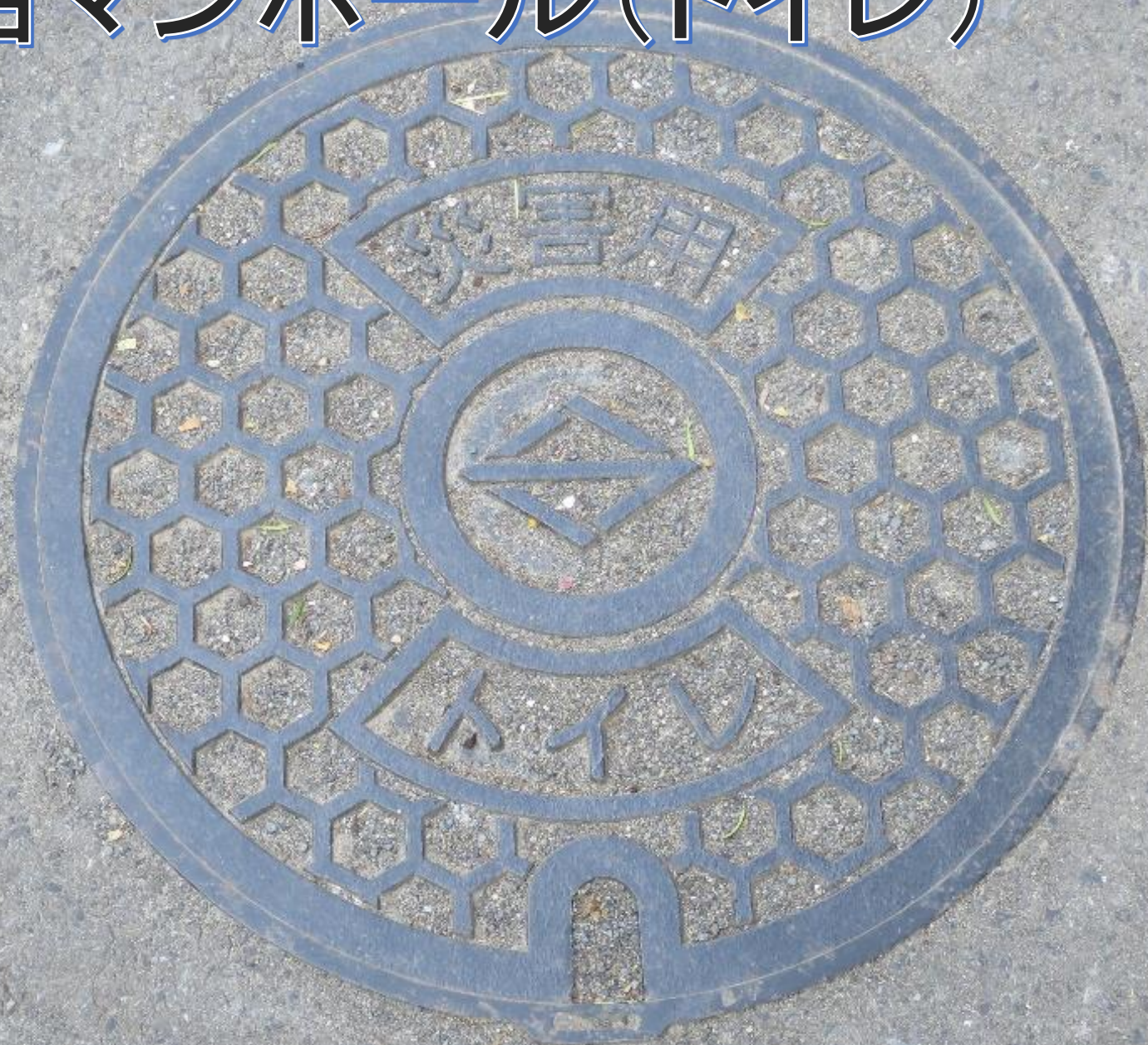


※プールが屋上の場合、高低差により水が自然に流れるため送水用手押しポンプのみで送水可能です

連絡先
横浜市環境創造局 管路保全課 TEL671-2829



直結マンホール(トイレ)



地域防災訓練2017

発電機と照明





**避難所運営
避難者カードの記入**



青少年防災対応力強化研修 2017参加者募集！！！！

中・高校生の皆さん、震災はいつ来てもおかしくありません。
そこで**災害現場ですぐに役立つ**体験型の研修を実施します。
いざという時、地域の“力”となるのは皆さんです。
あなたの参加を待っています！

心肺蘇生法研修



救急入門コース
参加証が
もらえるよ！



模擬がれき救助



非常食体験



応急給水栓取扱



防災対応力

はしご車・放水体験

トイレパック取扱い



防災グッズクイズ対抗戦など
お楽しみもあり！

※イラスト・写真は全てイメージです

開催日時：平成29年11月26日(日) 8:45～14:00 傘雨天決行
開催場所：横浜市消防訓練センター(戸塚区深谷町777番地)
集合場所：戸塚駅又は、東戸塚駅 ⇒ 送迎バスにて訓練センターへ
参加申込：裏面申込書に記入または氏名(ふりがな)、性別、学校名、学年、
住所、電話番号、食物アレルギーの有無を記入の上、FAXかEメールで申込み
※レトルトカレーとご飯を食べます。食物アレルギーがある方は事前にお知らせください。

申込先：戸塚区役所地域振興課 FAX 045-864-1933

定員：70人 Eメール to-chishin@city.yokohama.jp

持ち物：運動できる服装、上履き、靴袋、水筒など

締切：10/27(金) ※応募多数の場合、抽選

防災訓練実施中

